

## 「墨田区学習状況調査」の結果について

### 第1 平成25年度 調査結果の概要

#### 1 調査の目的

- (1) 墨田区教育委員会は、児童・生徒に確かな学力を身に付けさせ、自ら学び、課題解決できる区民を育成することを目的とした学力向上施策推進のための基礎的データを得る。
- (2) 墨田区立各小・中学校は、授業改善プランを策定し、授業改善の取組を積極的に進めるために、自校の実態や児童・生徒一人一人の学習状況を把握する。

#### 2 調査の概要

- (1) 対 象：小学校第2学年から中学校第3学年までの原則として全児童・生徒
- (2) 調査実施日：小学校：平成25年5月1日（水）・2日（木）  
中学校：平成25年5月1日（水）
- (3) 内 容：①教科に関する調査  
前学年までの学習内容の定着状況について、教科別に、選択式及び記述式で解答する調査  
②意識調査  
学習に対する意識や態度、生活実態等について、選択式で回答する調査
- (4) 教 科：国語及び算数・数学：小学2年生以上 社会及び理科：小学4年生以上  
英語：中学2年生以上

#### 3 調査の基本的な考え方

墨田区の児童・生徒の学習状況の特徴を把握するために、教科別・観点別等に児童・生徒の正答率を目標値及び全国平均と比較するとともに、正答率と意識調査の回答との関連を捉える。学習状況調査では、各教科の設問ごとに【目標値】を定め、児童・生徒の【正答率】がこの【目標値】に対して、－5ポイント以上から＋5ポイント未満であった場合、目標値と同程度としている。

【目 標 値】 学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童・生徒の割合を示したもの。出題形式や解答形式によって算出され、プレテストなどによって補正されている。  
なお、観点ごとの目標値は、設問ごとに設定された目標値から算出されている。

【正 答 率】 特定の設問に正答した児童・生徒の割合

【平均正答率】 正答率の平均値のこと。観点における学年のデータとして用いる際は、その観点の全設問における学年集団の正答率の平均値

#### 4 受検した児童・生徒数（単位：名）

	学年	学習到達度調査					意識調査
		国語	算数・数学	英語	社会	理科	
小学校	第2学年	1,510	1,511				1,511
	第3学年	1,463	1,464				1,462
	第4学年	1,547	1,547		1,544	1,545	1,544
	第5学年	1,544	1,545		1,547	1,547	1,542
	第6学年	1,571	1,572		1,570	1,569	1,571
中学校	第1学年	1,253	1,253		1,252	1,252	1,255
	第2学年	1,266	1,267	1,267	1,267	1,266	1,265
	第3学年	1,273	1,274	1,273	1,273	1,273	1,272

## 5 調査結果 観点別結果の概要

### (1) 小学校

(単位：%)

教科	観 点	目標値及び平均正答率									
		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
		目標値	区平均正答率 全国平均正答率	目標値	区平均正答率 全国平均正答率	目標値	区平均正答率 全国平均正答率	目標値	区平均正答率 全国平均正答率	目標値	区平均正答率 全国平均正答率
国語	話す力・聞く力	80.0	<b>83.9</b> 78.8	81.7	<b>83.5</b> 86.7	79.3	<b>81.8</b> 82.4	53.3	<b>52.8</b> 49.8	65.0	<b>66.6</b> 64.7
	書く力	74.4	<b>80.7</b> 79.2	77.5	<b>73.5</b> 83.9	64.0	<b>60.2</b> 66.9	56.5	<b>58.8</b> 57.3	70.0	<b>70.3</b> 74.8
	読む力	67.1	<b>70.8</b> 67.0	60.6	<b>59.3</b> 62.9	57.5	<b>62.3</b> 57.4	65.6	<b>65.8</b> 67.4	60.6	<b>63.7</b> 62.5
	言語についての知識・理解・技能	77.7	<b>85.2</b> 84.2	85.8	<b>85.2</b> 92.0	71.2	<b>71.8</b> 72.2	67.6	<b>72.9</b> 71.2	68.2	<b>69.6</b> 71.0
算数	数学的な考え方	66.9	<b>67.4</b> 69.0	62.6	<b>63.2</b> 63.7	56.1	<b>60.0</b> 58.2	57.6	<b>60.5</b> 60.6	57.8	<b>57.6</b> 58.8
	数量や図形についての技能	87.1	<b>90.2</b> 91.1	81.6	<b>82.9</b> 85.3	72.0	<b>76.0</b> 75.2	70.3	<b>73.2</b> 73.6	72.9	<b>73.3</b> 75.9
	数量や図形についての知識・理解	84.3	<b>86.7</b> 88.4	68.6	<b>67.7</b> 72.0	71.0	<b>71.0</b> 74.3	61.4	<b>64.8</b> 64.0	71.9	<b>71.5</b> 74.8
理科	科学的な思考・表現					66.3	<b>63.6</b> 66.6	64.6	<b>66.0</b> 68.3	75.6	<b>76.2</b> 79.5
	観察・実験の技能					74.3	<b>69.9</b> 79.9	69.6	<b>64.9</b> 71.3	65.7	<b>63.9</b> 70.6
	自然事象についての知識・理解					72.0	<b>67.6</b> 75.1	67.5	<b>64.0</b> 69.1	73.4	<b>72.0</b> 76.7
社会	社会的な思考・判断・表現					63.2	<b>64.4</b> 64.5	62.0	<b>68.6</b> 64.5	64.3	<b>66.0</b> 66.4
	観察・資料活用の技能					70.3	<b>72.7</b> 72.8	62.8	<b>68.2</b> 64.7	63.8	<b>64.8</b> 65.0
	社会的事象についての知識・理解					69.5	<b>73.7</b> 72.2	66.2	<b>68.9</b> 70.0	66.7	<b>66.7</b> 68.3

全国平均正答率と比較して、5ポイント以上高い	例 <b>83.9</b>
全国平均正答率と比較して、5ポイント以上低い	例 <b>73.5</b>

- 小学校全体では、全53観点中、全国平均正答率を5ポイント以上上回った観点は1観点であり、5ポイント以上下回った観点は8観点であった。その他44観点は、プラスマイナス5ポイント以内であり、ほぼ全国平均正答率と同程度と言える。

目標値との関係では、5ポイント以上上回った観点は5観点であり、5ポイント以上下回った観点はない。

### 良い点

#### 国語

- ・「話す力・聞く力」：5年生を除いた学年で目標値を上回っている。
- ・「書く力」：2年生では、目標値を5ポイント以上上回っている。
- ・「読む力」：3年生を除いて全学年で目標値を上回っている。
- ・「言語についての知識・理解・技能」：3年生を除いて全学年で目標値を上回っている。特に2、5年生は、目標値を5ポイント以上上回っており、さらに、全国平均正答率も上回っている。

#### 算数

- ・「数学的な考え方」：6年生を除いた学年で目標値を上回っている。
- ・「数量や図形についての技能」：全学年で目標値を上回っている。

#### 社会

- ・「社会的な思考・判断・表現」：4年生以上の全学年で目標値を上回り、特に5年生では5ポイント以上上回るとともに、全国平均正答率も上回っている。
- ・「観察・資料活用の技能」：4年生以上の全学年で目標値を上回っている。
- ・「社会的事象についての知識・理解」：4、5年生で目標値を上回っている。特に4年生では全国平均正答率も上回っている。

### 課題点

#### 理科

- ・全9観点中、7観点で目標値を下回っている。
- ・全9観点中、全てにおいて全国平均正答率を下回っている。

#### 社会

- ・全9観点中、6観点で全国平均正答率を下回っている。

## (2) 中学校

(単位：%)

教科	観 点	目標値及び平均正答率					
		第1学年		第2学年		第3学年	
		目標値	区平均正答率 全国平均正答率	目標値	区平均正答率 全国平均正答率	目標値	区平均正答率 全国平均正答率
国語	話す力・聞く力	63.8	<b>66.3</b> 66.2	63.8	<b>67.9</b> 67.2	66.3	<b>67.3</b> 69.6
	書く力	52.9	<b>60.6</b> 51.1	70.4	<b>75.9</b> 68.2	68.6	<b>64.9</b> 69.2
	読む力	55.0	<b>58.4</b> 54.8	62.5	<b>68.9</b> 64.9	57.5	<b>57.7</b> 58.7
	言語についての知識・理解・技能	60.6	<b>59.0</b> 60.9	57.0	<b>60.8</b> 57.5	63.9	<b>66.8</b> 68.4
数学	数学的な見方や考え方	63.4	<b>60.2</b> 66.0	45.3	<b>40.5</b> 44.3	48.2	<b>45.9</b> 45.6
	数学的な技能	75.9	<b>72.6</b> 78.4	60.7	<b>61.5</b> 61.2	60.7	<b>61.4</b> 60.9
	数量や図形などについての知識・理解	72.8	<b>68.7</b> 76.1	60.6	<b>57.3</b> 61.3	57.6	<b>56.0</b> 58.0
英語	外国語表現の能力			49.4	<b>46.5</b> 50.3	40.3	<b>36.6</b> 40.1
	外国語理解の能力			67.0	<b>72.1</b> 70.9	66.7	<b>67.8</b> 68.3
	言語や文化についての知識・理解			67.5	<b>67.8</b> 66.9	57.9	<b>60.9</b> 60.8
理科	科学的な思考・表現	65.0	<b>58.0</b> 68.4	55.5	<b>49.8</b> 55.1	49.9	<b>44.1</b> 50.4
	観察・実験の技能	72.2	<b>67.8</b> 77.2	69.2	<b>62.2</b> 69.2	54.7	<b>46.4</b> 54.6
	自然事象についての知識・理解	64.4	<b>53.5</b> 68.0	54.6	<b>47.5</b> 55.2	52.1	<b>43.3</b> 52.0
社会	社会的な思考・判断・表現	57.5	<b>54.9</b> 61.1	39.7	<b>37.4</b> 40.7	43.8	<b>43.4</b> 45.5
	資料活用の技能	65.5	<b>64.9</b> 70.5	53.0	<b>52.6</b> 54.7	52.0	<b>44.1</b> 52.4
	社会的事象についての知識・理解	60.7	<b>51.0</b> 58.8	54.8	<b>52.5</b> 55.9	52.3	<b>44.0</b> 53.1
						43.5	<b>41.5</b> 42.2
						54.0	<b>49.3</b> 54.6
						52.4	<b>46.7</b> 53.3

○ 中学校全体では、全48観点中、全国平均正答率を5ポイント以上上回った観点は2観点であり、5ポイント以上下回った観点は19観点であった。その他27観点は、プラスマイナス5ポイント以内であり、ほぼ同程度といえる。

目標値との関係では、5ポイント以上上回った観点は4観点であり、5ポイント以上下回った観点は12観点である。

## 良い点

## 国語

- ・「話す力・聞く力」：3学年とも目標値を上回り、1、2年は全国平均正答率も上回っている。
- ・「書く力」：1、2年とも、全国平均正答率を上回るとともに、目標値を5ポイント以上上回っている。
- ・「読む力」：1、2年とも、全国平均正答率及び目標値を上回っている。特に2年生は、目標値を5ポイント以上上回っている。

## 英語

- ・「外国語理解の能力」：2、3年とも目標値を上回っている。特に2年生は、全国平均正答率を上回るとともに、目標値を5ポイント以上上回っている。
- ・「言語や文化についての知識・理解」：2、3年とも、全国平均正答率及び目標値を上回っている。

## 課題点

## 数 学

- ・1年生では、3つの観点とも、全国平均正答率より、5ポイント以上下回っている。

## 理 科

- ・「科学的な思考・表現」：3学年とも、目標値・全国平均正答率ともに下回っている。特に1年では、全国平均正答率と比較し、10ポイント以上下回っている。
- ・「観察・実験の技能」：3学年とも、目標値・全国平均正答率ともに下回っている。特に2、3年生は、目標値・全国平均正答率ともに5ポイント以上下回っている。
- ・「自然事象についての知識・理解」：3学年とも、目標値・全国平均正答率ともに下回っている。特に1年では、全国と比較し、10ポイント以上下回っている。

## 社 会

- ・「社会的な思考・判断・表現」：3学年とも、目標値・全国平均正答率ともに下回っている。特に1年では、全国平均正答率と比較し、5ポイント以上下回っている。
- ・「資料活用の技能」：3学年とも、目標値・全国平均正答率ともに下回っている。特に3年生では、目標値・全国平均正答率ともに5ポイント以上下回っている。
- ・「社会的事象についての知識・理解」：3学年とも、目標値・全国平均正答率ともに下回っている。特に1、3年生では、目標値・全国平均正答率ともに5ポイント以上下回っている。

## 第2 学力向上3か年計画の目標値に対する調査結果

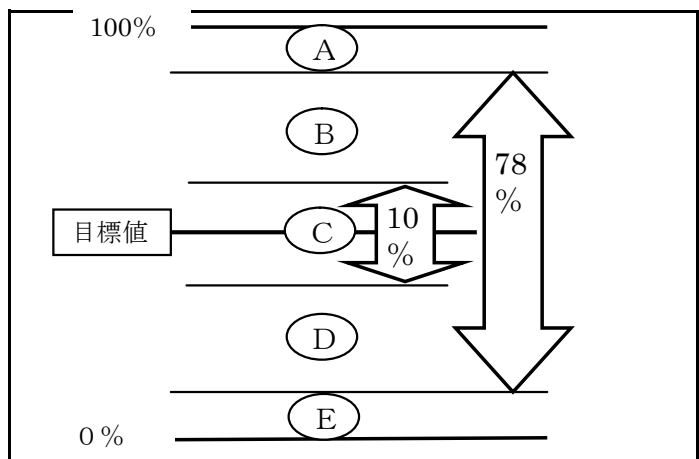
(1) 目標設定：「D・E層の児童・生徒数が全体の40%以下」及び「中学1年生の、D・E層が全体の40%以下」  
(単位：%)

		A	B	C	D	E	D+E
小学2年生	国語	10.2	54.1	16.4	19.0	0.3	<b>19.3</b>
	算数	13.5	32.7	33.7	19.9	0.2	<b>20.1</b>
小学3年生	国語	8.4	38.6	22.5	29.2	1.2	<b>30.4</b>
	算数	7.0	42.6	20.2	28.9	1.3	<b>30.2</b>
小学4年生	国語	5.7	44.8	15.0	33.8	0.8	<b>34.6</b>
	社会	4.3	52.5	17.3	24.9	0.9	<b>25.8</b>
	算数	9.5	44.7	17.2	27.5	1.0	<b>28.5</b>
	理科	1.4	31.9	26.3	39.9	0.6	<b>40.5</b>
小学5年生	国語	5.1	49.7	14.4	29.9	0.9	<b>30.8</b>
	社会	6.4	46.1	19.8	27.4	0.3	<b>27.7</b>
	算数	7.8	46.6	14.2	30.3	1.1	<b>31.4</b>
	理科	3.8	38.5	19.6	37.8	0.3	<b>38.1</b>
小学6年生	国語	5.0	47.8	14.2	32.9	0.1	<b>33.0</b>
	社会	6.6	41.1	16.5	35.6	0.3	<b>35.9</b>
	算数	11.4	37.5	14.4	35.7	1.0	<b>36.7</b>
	理科	6.8	37.2	23.1	32.6	0.3	<b>32.9</b>
中学1年生	国語	4.1	42.2	18.9	34.2	0.6	<b>34.8</b>
	社会	1.3	27.0	18.3	52.1	1.4	<b>53.5</b>
	数学	6.7	36.8	16.4	39.5	0.6	<b>40.1</b>
	理科	1.0	25.0	20.0	52.9	1.0	<b>53.9</b>
中学2年生	国語	8.0	51.1	15.0	25.2	0.7	<b>25.9</b>
	社会	0.8	38.9	16.5	42.8	1.0	<b>43.7</b>
	数学	4.8	39.1	14.5	39.9	1.8	<b>41.7</b>
	理科	0.8	30.6	13.9	54.1	0.6	<b>54.8</b>
	英語	10.9	36.3	15.4	36.8	0.6	<b>37.4</b>
中学3年生	国語	2.9	44.4	20.3	31.9	0.6	<b>32.4</b>
	地理・歴史	0.4	27.7	19.1	51.3	1.4	<b>52.7</b>
	世界地理	0.0	28.2	19.1	51.9	0.9	<b>52.7</b>
	数学	6.7	37.7	14.9	38.3	2.4	<b>40.7</b>
	理科	2.4	26.2	10.2	59.8	1.4	<b>61.2</b>
	英語	6.7	39.0	12.9	39.8	1.7	<b>41.4</b>

【目標値】に対して、-5ポイント以上から+5ポイント未満であった場合、目標値と同程度でCである。6ポイントから39ポイント高ければB、低ければDである。40ポイントから50ポイント高ければA、低ければEである。

小2～中3の延べ31教科のうち、目標を達成できたのは19教科である。

中学1年生に限っては、4教科中、国語のみ達成できた。学習上のつまづきに対する対応と小学校6年生段階までの基礎・基本の徹底が課題である。



(2) 目標設定2：「読む能力」「書く能力」「言語の知識・理解」の区平均正答率が全国平均値以上（単位：％）

		第2学年	第3学年	第4学年	第5年	第6学年
		区平均正答率	区平均正答率	区平均正答率	区平均正答率	区平均正答率
		全国平均正答率	全国平均正答率	全国平均正答率	全国平均正答率	全国平均正答率
小学校	書く力	<b>80.7</b>	<b>73.5</b>	<b>60.2</b>	<b>58.8</b>	<b>70.3</b>
		79.2	83.9	66.9	57.3	74.8
	読む力	<b>70.8</b>	<b>59.3</b>	<b>62.3</b>	<b>65.8</b>	<b>63.7</b>
		67.0	62.9	57.4	67.4	62.5
	言語についての知識・理解・技能	<b>85.2</b>	<b>85.2</b>	<b>71.8</b>	<b>72.9</b>	<b>69.6</b>
		84.2	92.0	72.2	71.2	71.0
中学校	書く力	第1学年	第2学年	第3学年	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">                     全国平均正答率と比べ、5ポイント以上高い。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     全国平均正答率と比べ、5ポイント以上低い。                 </div>	
		<b>60.6</b>	<b>75.9</b>	<b>64.9</b>		
	51.1	68.2	69.2			
	読む力	<b>58.4</b>	<b>68.9</b>	<b>57.7</b>		
		54.8	64.9	58.7		
	言語についての知識・理解・技能	<b>59.0</b>	<b>60.8</b>	<b>66.8</b>		
60.9		57.5	68.4			

全国平均正答率と比べ、5ポイント以上高かったのは、中学校1、2年生の「書く力」の観点である。また、5ポイント以上低かったのは、小学校3年及び4年の3観点のみである。これまでの各学校の取組の成果であると言える。しかし、全国平均値以上を目指す目標に立つとき、各学校の様々な取組の一層の質的向上が必要である。

(3) 目標設定3：「思考・判断力」の区平均正答率が全国平均値以上（単位：％）

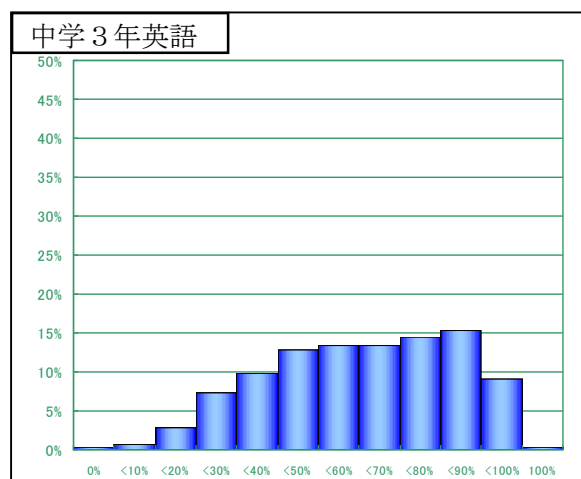
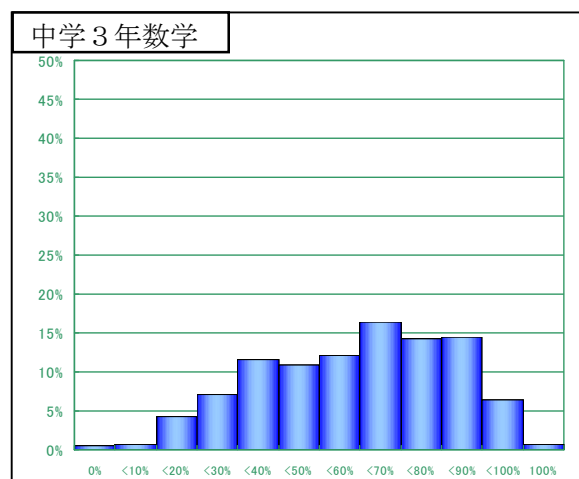
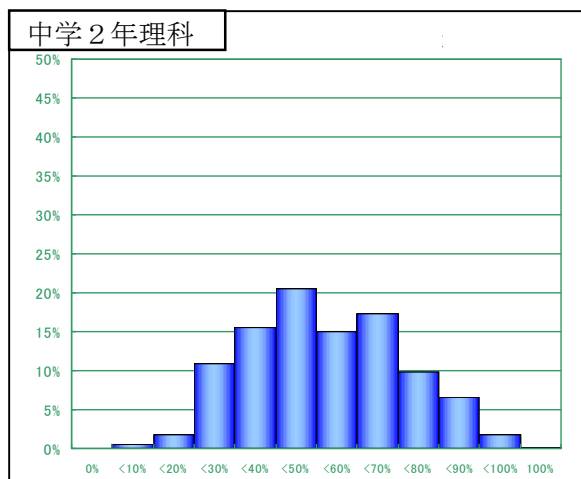
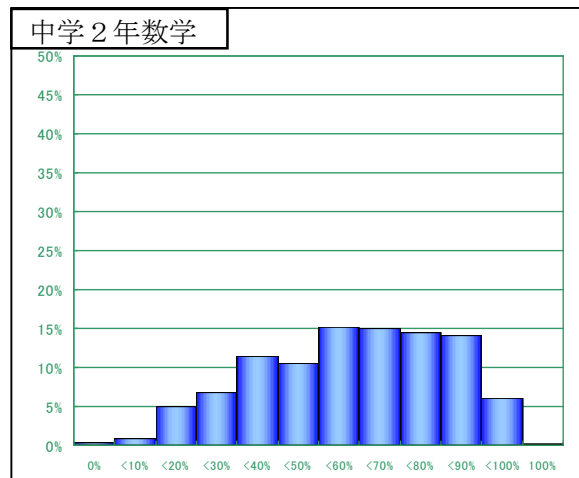
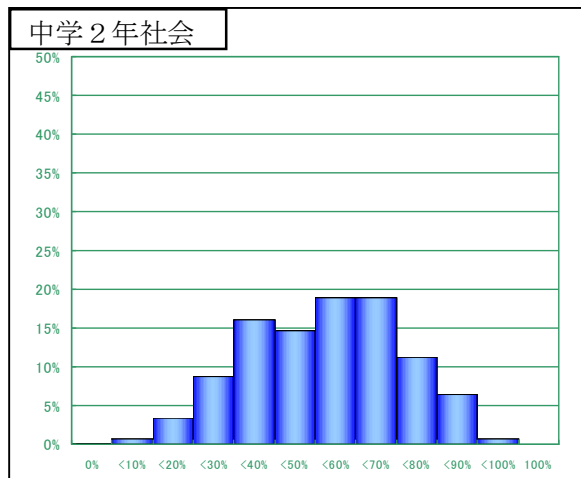
学年		国語	社会	算数・数学	理科	英語
小2	区 平均正答率	<b>52.0</b>		<b>58.1</b>		
	全国 平均正答率	47.2		58.9		
小3	区 平均正答率	<b>70.4</b>		<b>55.4</b>		
	全国 平均正答率	72.7		55.8		
小4	区 平均正答率	<b>40.3</b>	<b>53.7</b>	<b>54.3</b>	<b>57.8</b>	
	全国 平均正答率	40.2	51.8	50.5	60.8	
小5	区 平均正答率	<b>67.9</b>	<b>65.8</b>	<b>59.2</b>	<b>54.5</b>	
	全国 平均正答率	63.7	61.5	57.2	56.8	
小6	区 平均正答率	<b>55.0</b>	<b>47.6</b>	<b>62.8</b>	<b>64.8</b>	
	全国 平均正答率	56.6	43.2	63.5	70.6	
中1	区 平均正答率	<b>59.5</b>	<b>53.9</b>	<b>68.8</b>	<b>50.6</b>	
	全国 平均正答率	57.3	55.1	74.4	57.7	
中2	区 平均正答率	<b>63.6</b>	<b>38.3</b>	<b>42.0</b>	<b>48.8</b>	<b>61.6</b>
	全国 平均正答率	58.4	39.8	43.9	51.4	63.4
中3	区 平均正答率	<b>50.8</b>	<b>46.1</b>	<b>32.3</b>	<b>44.1</b>	<b>71.9</b>
	全国 平均正答率	51.3	40.7	33.1	48.6	71.1

全国平均正答率と比較して、中学2年生の国語と中学3年生の社会が5ポイント以上上回っている。小学校6年生の理科と、中学校1年生の数学と理科が5ポイント以上下回っている。教科で見ると、算数・数学及び理科において課題が顕著である。

授業において考える場面を多くすることによって、さらに児童・生徒の思考力・判断力を伸ばしていく取組が求められる。算数・数学、理科では暗記させるだけではなく、話し合い活動等を通して答えを導くような授業が必要である。

### 第3 その他の特徴的な結果

学力定着の2極化傾向 「正答率度数分布」より



上記に挙げた学年の教科の、正答率の度数分布は、现阶段では2極化とまでは言えないが、正答率が広く分布して台形のようにになっている。中学2、3年生という義務教育最終段階になり、得意不得意が徐々に分かれはじめていると言える。

特定の学年や教科を限定するなどの、学力低位層に対する取組をさらに推進する必要がある。

## 第4 意識調査と学習状況との関連

### 意識と結果の不整合

◇意識調査の質問「最近、学校の勉強がむずかしくなったなど、感じることはありますか。」

(単位:%)

		全部理解している	大変だけど理解している	分からないことが出てきた	分からないままのことが多い	その他
小5	全国	17.9	53.8	22.5	5.7	0.1
	墨田区	27.6	48.3	17.7	5.6	0.8
小6	全国	16.6	48.6	27.0	7.7	0.0
	墨田区	25.4	48.6	19.0	6.8	0.2
中1	全国	6.8	35.7	39.8	17.5	0.1
	墨田区	19.7	57.5	18.2	4.2	0.4
中2	全国	6.4	30.7	41.8	20.9	0.2
	墨田区	6.6	45.0	32.2	15.8	0.3
中3	全国	8.4	32.6	37.2	21.8	0.1
	墨田区	7.2	43.5	32.7	16.2	0.4



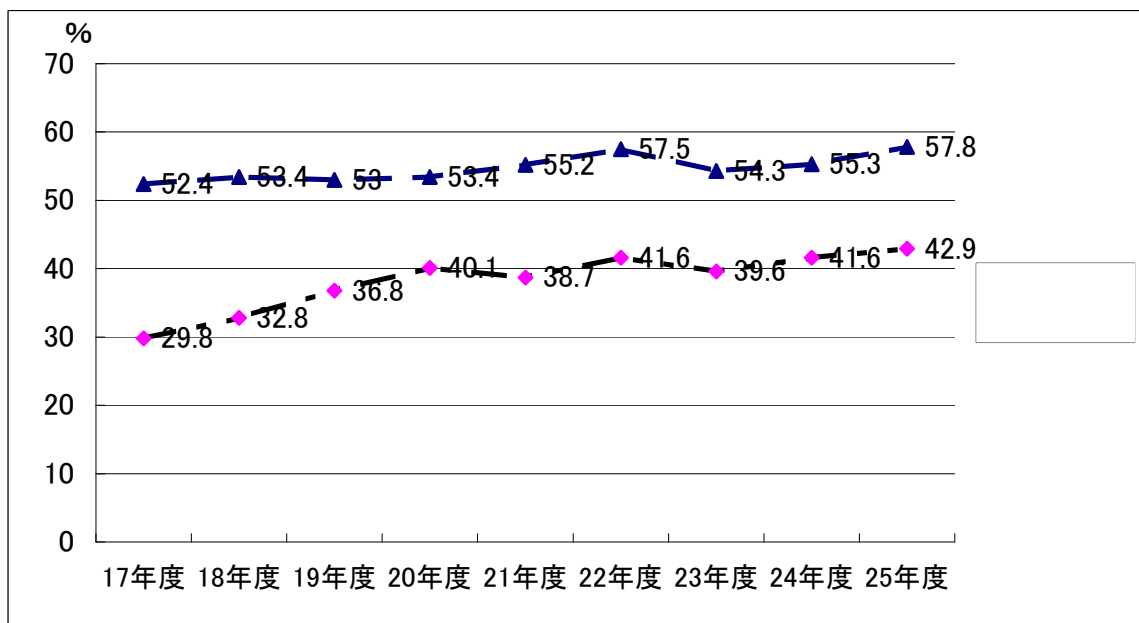
		理解している	差
小5	全国	71.7	4.2
	墨田区	75.9	
小6	全国	65.2	8.8
	墨田区	74.0	
中1	全国	42.5	34.7
	墨田区	77.2	
中2	全国	37.1	14.5
	墨田区	51.6	
中3	全国	41.0	9.7
	墨田区	50.7	

「最近、学校の勉強がむずかしくなったなど、感じることはありますか。」という質問に対して「理解している」という肯定的な回答を合算すると、質問が調査項目にある小学5年生以上の全ての学年で全国の回答数率を上回っている。しかし、正答率との比較で見ると、小学校5年生以上の74観点中、全国平均正答率と比べ5ポイント以上上回っている観点は2観点に留まっており、5ポイント以上上回っている観点は22観点である。

意識調査の差が大きい中学生のみに限定し、各学年別に見てみると、1年生では13観点中9観点が、2年生では16観点中3観点が、3年生では19観点中7観点が5ポイント以上上回っていて、5ポイント以上上回っている観点は2観点のみである。実際の学習状況との差が大きく開いている。

この結果から、「分かる」から「できる」へと学習内容を確実に定着させるための学習指導の充実が課題であるとともに、学習状況調査の結果等の客観的資料を活用することがより重要となってくる。

◇意識調査の質問「目標に向けて、普段からこつこつと学習している。」



上記のグラフは、平成17年度からの意識変化の推移を示したものである。平成24年度と比較すると、小学6年生で2.5ポイント、中学3年生で1.3ポイントと2年連続で上昇している。

◇意識調査の質問「家で、一週間で、何日くらい勉強をしますか。」 (%)

		ほぼ毎日	4～5日	2～3日	1日くらい	ほとんどしない	その他	太枠合計
		小6	全国	55.8	17.0	14.8	12.3	
	墨田区	47.1	19.3	17.1	15.8	0.7	66.4	
中3	全国	62.0	16.5	11.3	10.0	0.1	78.5	
	墨田区	27.4	18.7	29.5	23.8	0.6	46.1	

◇意識調査の質問「学校の授業以外に、平日は、1日にどれくらい勉強をしますか。(塾等も含む)」 (%)

		まったくしない	30分くらい	1時間くらい	2時間くらい	3時間くらい	4時間以上	太枠合計
		小6	全国	8.4	22.7	36.1	22.6	
	墨田区	11.6	24.7	25.3	15.8	10.2	10.9	62.2
中3	全国	6.5	5.8	18.4	33.7	26.7	8.8	87.6
	墨田区	12.8	15.0	22.2	35.5	9.9	3.7	71.3

◇意識調査の質問「土日や祭日など、学校の休みの日は、1日にどれくらい勉強をしますか。(塾等も含む)」 (%)

		まったくしない	30分くらい	1時間くらい	2～3時間	4～5時間	6時間以上	太枠合計
		小6	全国	19.3	30.1	29.5	16.5	
	墨田区	26.6	28.6	17.9	13.0	6.3	6.2	43.4
中3	全国	8.9	5.4	11.7	41.4	20.9	11.5	85.5
	墨田区	26.3	18.6	24.0	23.4	4.9	2.1	54.4

上記に挙げる表は、学習時間や日数に関する三つの質問に対する回答を全国平均値と比較したものである。

太枠で囲ったところに着目し比較してみると、本区の結果は全ての項目で全国値を下回っていることが分かる。

特に、中学3年生の「家で、一週間で、何日くらい勉強をしますか。」と「土日や祭日など、学校の休みの日は、1日にどれくらい勉強をしますか。」の質問に対する回答の値に差が見られる。児童・生徒自身は「こつこつと学習している」という意識が徐々に向上しているにもかかわらず、全国との実際の学習時間等の開きは大きいと言える。家庭学習の習慣化が課題である。



## 第5 調査結果を受けての取組

### 1 調査結果の公表

#### (1) 教育委員会の対応

##### ア 調査結果速報値の公表

区全体の傾向を示すデータとして学年別、教科別、観点別の結果及び結果の分析を、教育委員会ホームページで公表する。

#### (2) 各学校の対応

##### ア 調査結果の公表

自校の学年別、教科別、観点別の結果を学校だよりやホームページ等で公表する。

##### イ 個票の返却

保護者会、個人面談等の機会を利用して、保護者に説明したうえで、個票を返却する。

##### ウ 平成25年度後期授業改善プランの公表

結果の分析、授業改善プランの全体計画（学力向上及び授業改善の方策）を、学校だよりやホームページ等で公表する。

### 2 学力向上を図るための主な施策

#### (1) 後期学校改善計画の作成

各校は、墨田区学習状況調査等から、学級、教科ごとに児童・生徒の学習状況を分析したうえで、平成25年度後期授業改善プランを作成し、授業改善を通して児童・生徒の学力向上を図る取組を行う。

すみだ教育研究所及び指導室は、後期学校改善計画等を資料として、全ての学校に対して課題に対する今後の取組等についてのヒアリングを行い、指導・助言をする。

なお、改善計画作成のポイントとして、教科別、観点別、領域別等の学習状況に着目し、目標値等に照らして状況を把握し、要因分析した上で、対応策をまとめる。具体例として、選択肢解答による設問で、正答率が50.0%以下のものは誤った理解が広がっている可能性が高いので、分析する観点とする等

#### (2) すみだ学力向上推進会議の活性化

##### ア 墨田区教育研究会との連携強化

本年度から墨田区教育研究会との連携を強化し、組織的な対応を促進するため、小・中学校各教科部長を推進会議の委員として委嘱し、本区の学力向上に関する全体的な提言を行う。

小・中学校各教科部長より推薦を受けた調査分析分科会メンバーにより、墨田区全体の各校種・各教科の課題を専門家の立場から詳細に分析し、指導法の工夫改善等の提言を行う。

##### イ 報告書の作成

学力向上推進会議及び調査分析分科会による本調査結果の分析及び各校での授業改善に向けた取組内容については、報告書にまとめ、学力向上の指針とする。今年度は、さらに詳細な分析をし、「指導方法の工夫改善のポイント」、教科部会から学力向上の提言も行い読みやすく分かりやすい報告書を目指していく。

(3) 学力向上の重点支援・焦点化

ア 重点的な学校支援

学力低位層の児童生徒が多い学校の重点支援

イ 共通課題の設定による全校の重点実施

区の共通課題を設定し、各学校の実態に応じた取組の実施

「読む力・書く力の育成」など授業改善プランに位置づけ、具体的方策を立て授業実践

ウ 理科教育設備整備補助

25年度文科省理科振興設備整備補助金活用(国庫負担半額補助)による理科設備の整備

第6 資料

平成25年度 墨田区学習状況調査結果 観点別結果の概要

(単位：%)

小学校 観点		小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学校 観点		中学1年	中学2年	中学3年
国語	話す・聞く能力	52.1	48.9	49.7	51.0	50.7	話す・聞く能力	50.0	50.3	48.9	
	書く能力	50.5	47.5	48.1	50.4	48.7	書く能力	52.6	52.3	48.8	
	読む能力	51.6	48.6	51.8	49.4	50.5	読む能力	51.6	51.6	49.6	
	言語についての知識・理解・技能	50.7	47.3	49.8	50.7	49.2	言語についての知識・理解・技能	49.1	51.3	49.3	
算数・数学	数学的な考え方	49.2	49.8	50.7	50.0	49.5	数学的な見方や考え方	47.8	48.5	50.1	
	数量や図形についての技能	49.2	48.5	50.4	49.8	48.8	数学的な技能	47.2	50.1	50.2	
	数量や図形についての知識・理解	49.0	48.1	48.5	50.4	48.5	数量や図形などについての知識・理解	46.5	48.3	49.2	
理科	科学的な思考・表現			48.7	48.8	48.4	科学的な思考・表現	44.4	47.7	47.2	
	観察・実験の技能			44.6	47.1	46.8	観察・実験の技能	45.1	47.1	47.1	
	自然事象についての知識・理解			46.0	47.2	47.8	自然事象についての知識・理解	43.1	46.7	46.2	
社会	社会的な思考・判断・表現			49.9	51.9	49.8	社会的な思考・判断・表現	47.4	48.5	49.0	世界地理先習
	観察・資料活用 の技能			50.0	51.7	49.9	資料活用 の技能	47.2	49.0	46.2	
	社会的事象についての知識・理解			50.8	49.4	49.1	社会的事象についての知識・理解	45.8	48.5	45.5	
英語							外国語表現の能力		48.7	48.8	
							外国語理解の能力		50.6	49.8	
							言語や文化についての知識・理解		50.4	50.0	

※全国平均正答率を集団の中心（50）と見なして、区平均正答率の位置を示した数値